

みんなで考える
おもてなしと環境問題

サミットが

G8 HOKKAIDO TOYAKO SUMMIT

やってくる!!

7月7日(月)～9日(水)の3日間、洞爺湖町でサミットが開催され、環境問題を中心に話し合いが行われる予定です。市でも、環境への意識を高めてもらうため、この機会にさまざまな取り組みを行います。また、期間中は外国の市民団体や報道関係者など多くの方が札幌を訪問することが予想されており、世界に札幌の魅力を伝える絶好の機会にもなります。今回の特集では、環境問題と札幌を訪れる方へのおもてなしについて、あらためて考えてみましょう。

サミット
って何？

サミットとは、年に1回、主要8カ国*の首脳とEU(欧州連合)の委員長が集い、地球規模の問題について話し合う会議です。結果は宣言として公表され、各国はその実現に向けて取り組みます。
*日本、アメリカ、フランス、ロシア、ドイツ、カナダ、イギリス、イタリア

サミットの開催地である洞爺湖

考えよう → 1

札幌のおもてなしを考えよう！

サミットに合わせて札幌を訪問する方を、市では温かい心で迎え、札幌を好きになってもらいたいと考えています。

【詳細】サミット支援担当 ☎211-3103

おもてなし
って何？



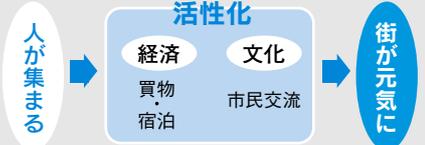
おもてなしとは、心から歓迎する気持ちを込めて、来訪した方を大切に扱うことです。

おもてなしが
ある街には
人が集う



おもてなしを受け、街に良い印象を抱くと、その街を再訪する方が多くなります。また、口コミで街のイメージが向上し、さらに多くの方が集うようになります。

人が
集うことで
街が元気に



多くの人が集まり、買い物や宿泊をすることによって、経済が活性化するほか、新たな市民交流が生まれ、街が元気になっていきます。

海外とかかわりながら 発展してきた街、札幌

札幌は明治以降、農業や建築、教育などの分野で外国人技師を迎えるなど、海外とかかわりながら発展してきました。1972年の冬季五輪以降は、市民同士の交流も活発化。交流の輪を着実に広げながら現在に至っています。

今回のサミットも、冬季五輪のように新たな交流が生まれるきっかけとなることが期待されています。

わたしたちにもできる「おもてなし」があります